

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年1月12日(2012.1.12)

【公表番号】特表2011-503337(P2011-503337A)

【公表日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-004

【出願番号】特願2010-534468(P2010-534468)

【国際特許分類】

C 0 9 D 201/00	(2006.01)
C 0 8 J 7/04	(2006.01)
C 0 9 D 157/00	(2006.01)
C 0 9 D 5/02	(2006.01)
C 0 9 D 7/12	(2006.01)
C 0 9 D 169/00	(2006.01)
C 0 9 D 133/00	(2006.01)
B 0 5 D 7/24	(2006.01)

【F I】

C 0 9 D 201/00	
C 0 8 J 7/04	Z
C 0 9 D 157/00	
C 0 9 D 5/02	
C 0 9 D 7/12	
C 0 9 D 169/00	
C 0 9 D 133/00	
B 0 5 D 7/24	3 0 1 F

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月16日(2011.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項10】

モノマーM)が、, -エチレン性不飽和モノカルボン酸およびジカルボン酸とC₁-C₂₀アルカノールとのエステル、ビニル芳香族化合物、ビニルアルコールとC₁-C₃₀モノカルボン酸とのエステル、エチレン性不飽和ニトリル、ハロゲン化ビニル、ハロゲン化ビニリデン、モノエチレン性不飽和カルボン酸およびスルホン酸、リン含有モノマー、, -エチレン性不飽和モノカルボン酸およびジカルボン酸とC₂-C₃₀アルカンジオールとのエステル、, -エチレン性不飽和モノカルボン酸およびジカルボン酸と、一級もしくは二級アミノ基を含むC₂-C₃₀アミノアルコールとのアミド、, -エチレン性不飽和モノカルボン酸ならびにそれらのN-アルキルおよびN,N-ジアルキル誘導体の一級アミド、N-ビニルラクタム、開鎖N-ビニルアミド化合物、アリルアルコールとC₁-C₃₀モノカルボン酸とのエステル、, -エチレン性不飽和モノカルボン酸およびジカルボン酸とアミノアルコールとのエステル、, -エチレン性不飽和モノカルボン酸およびジカルボン酸と、少なくとも1つの一級もしくは二級アミノ基を含むジアミンとのアミド、N,N-ジアリルアミン、N,N-ジアリル-N-アルキルアミン、ビニルおよびアリル置換窒素複素環、ビニルエーテル、C₂-C₈モノオレフィン、少なくとも2つの共役二重結合を有する非芳香族炭化水素、ポリエーテル(メタ)アクリレート、尿

素基を含むモノマー、ならびにそれらの混合物から選択される、請求項 9 に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 4】

請求項 1 から 7 までのいずれか一項に定義されている高分岐ポリマーを、それから製造される被覆の光沢度を向上させるために、水性ポリマー分散液 P D)を含む水性被覆材料のための添加剤として用いる使用。